

【先週のメッセージより】 誘惑に打ち勝たれた方に倣う マタイ 4:1~11より

●誘惑をしてくる「悪者」は二人いる 日々遭う誘惑の起源は二つあります。 1) 自分のわがままな心=罪の心、そ して、2)悪魔とその使い達です。 私たちの心はアダム以来、曲がってし



まっており、正しい行いをすることができず、誘惑に簡単に負けてし まいます。さらに悪魔の巧みな誘惑にもすぐに屈してしまいます。

- ●誘惑を受けていること自体は罪ではありません イエス様も誘惑を 受けられましたが罪は犯されませんでした。罪とは誘惑に屈っした結 果なのです。主は私たち誘惑に弱いことをご存知であり、同情してく ださいます。その上で誘惑に打ち勝つ方法を示してくださいました。
- ●誘惑にあった時 WDJD(主はどうされたか?)?答え:暗唱聖句で勝利 三回の誘惑の度に主は「暗唱されていたみことば」によって誘惑を退 けられました。しかし悪魔もみことばを「悪用」したりするので、そ れに対しては「正しく理解して暗唱しているみことば」でなければな らないことが分かります。日々のデボーション、仲間との聖研、礼拝 を通して、常にみことばを心に満たし、誘惑に打ち勝ちましょう。
- ●神の子供たちは耐えることのできない誘惑には遭わない。誘惑を通 して主は私たちを訓練してくださるので、いつもWWJDを問う!

結局、誘惑の本質は「自己中心を通すか」それとも「神と人と自分を 愛するのか」の選択であると言えます(自己中心は人格の破壊をもたらすゆ えに、決して自分を愛することでもありません)。誘惑と闘うたびに成長の機 会が与えられていることを思い出しましょう。そして主イエスならど うするか、問いつつ、御霊に導かれて勝利して行きましょう。■

【今週の英語】 "Adrianisms"より We spend the first half of our lives wasting our health to get wealth; the second half of our lives we spend our wealth to get back our health. 我々は人生の前 半、健康を犠牲にして富を得ようとし、

人生後半、その健康を取り戻そうと富を 使っていく。WEALTH HEALTH

You can give without loving, but you can't love without giving. 愛さず与えること はできるが、与えずに愛す ることはできない。

【今週の暗唱聖句】

ヨハネ1:43 その翌日、イエスはガリラヤに行こうとされた。そして、ピリポを見つけて「わたしに従って来なさい。」と言われた。」

結婚しているかしていないか。この問い掛けに対して答えは二通りしかない。「はい」か「いいえ」である。「今日は結婚しているような気がする?・・・しない?」というようなことはあり得ない。それと同じように、キリストの弟子であることについても「中間」はない。

目に見えないキリストに従うという決心は、聖書に記されている主の命令に具体的に応答することである。主は何よりも、私たちの人生の100%を要求なさる。もし自分を100%この方に明け渡すなら、神は「逆リース」という形で私たちに私たちの人生を返してくださる。そして信じて洗礼を受け、忠実に御言葉を読む者たちは、心の内に住まわれる聖霊により、日々従うべきキリストの命令を示されるようになる。導いて下さるキリストの手は確かである。さあ踏み出そう!■

(J.D. Rockefeller が母から 受け継いだ三つの信仰の遺産)

「子どもの頃、私は母と約束しました。私は、それをどんな時にも必ず守りました。今になって思うと、それは母が与えてくれた信仰という遺産だったのです。この信仰的な遺産を頂いたことが、私が世界一の富豪になった秘訣であると思います。」「母から頂いた第一の遺産は、十分の一献金を必ずささげるということでした。・・・私は母から徹底的な十分の一献金の教育を受けていた



ので、後に世界一の富豪になって莫大な富を築いた時も変わることなく、十分の一献金を正確にささげることができたのです。」「富豪として成功することができた**二番目の信仰の遺産**は、教会に行くと一番前の席に座って礼拝をささげることです。母は、そうすることによって牧師のメッセージに集中できるし、より多くの恵みを受けることができると言いました。」「**三番目の信仰の遺産**は、教会に素直に従い、牧師の心を悲しませることをしてはならないということでした。」「私は、母との約束に従って神様に多くの物をささげながらも二十年、三十年後にはそれが必ず多くの実を結ぶということを確信することができました。このような神様の経済学を、私は母を通して徹底的に学ぶことができたのです。」

(小牧者出版「ロックフェラーが知っていた『もうけ方』」イ・チュユン著 P47~P50抜粋)